

## 南区の公共交通の概要について

1. 南区の概要	.....	1
2. 南区の公共交通	.....	2
3. 南区民の移動特性	.....	4
4. 南区の公共交通の課題	.....	7
5. 南区が目指す交通の将来像	.....	8
6. 直近の取組事例	.....	9
7. 区バス利用者数・収支率の改善状況	.....	12

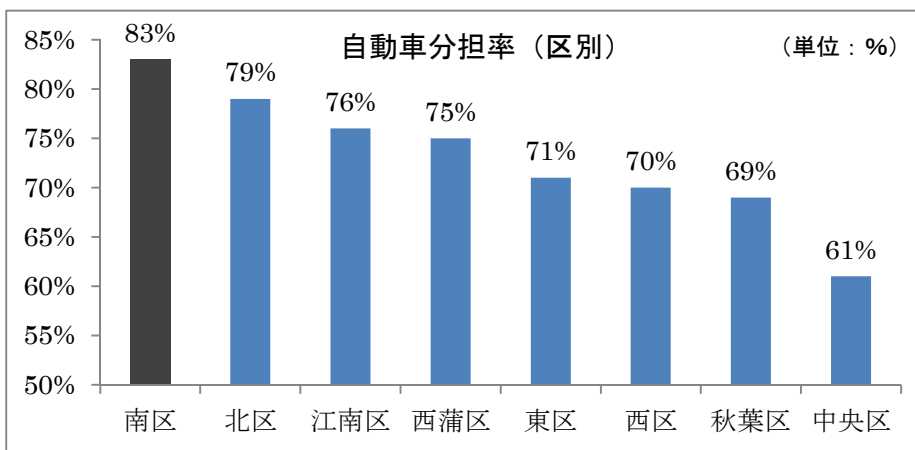
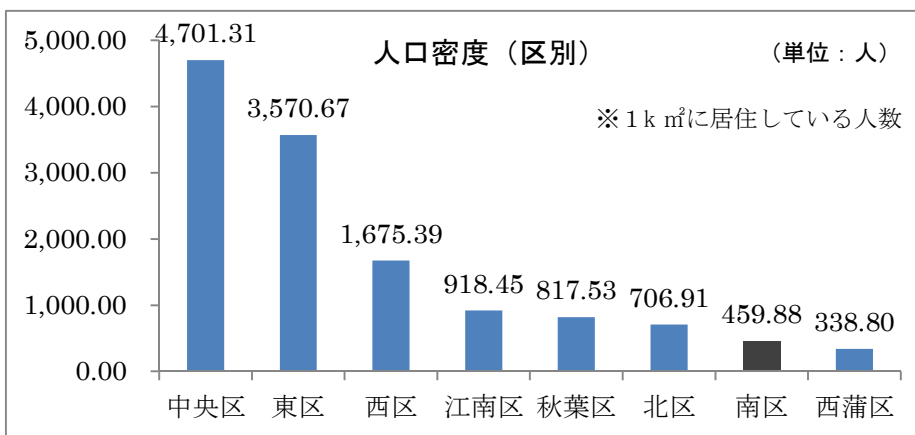
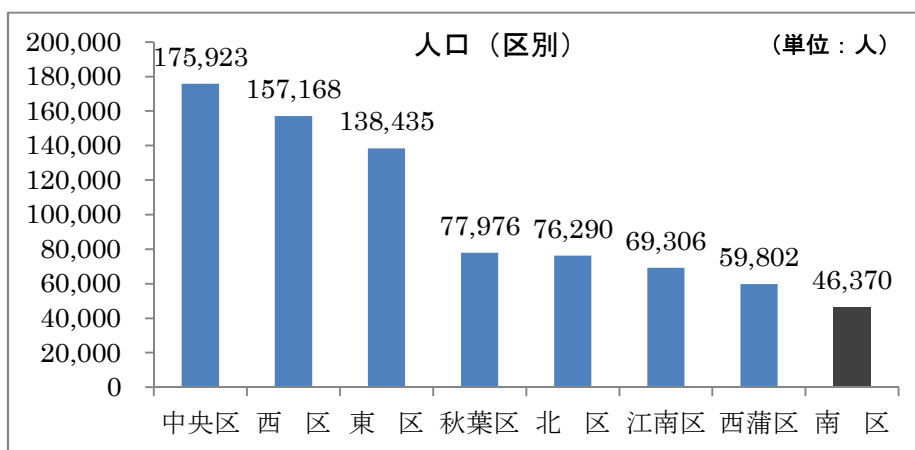
## 1. 南区の概要

南区は、8区の中で、西蒲区、北区に次ぐ広大な面積を有し、区域は南北に長い形状であり、集落点在型の地勢である。8区の中で唯一、軌道系公共交通が存在しない。

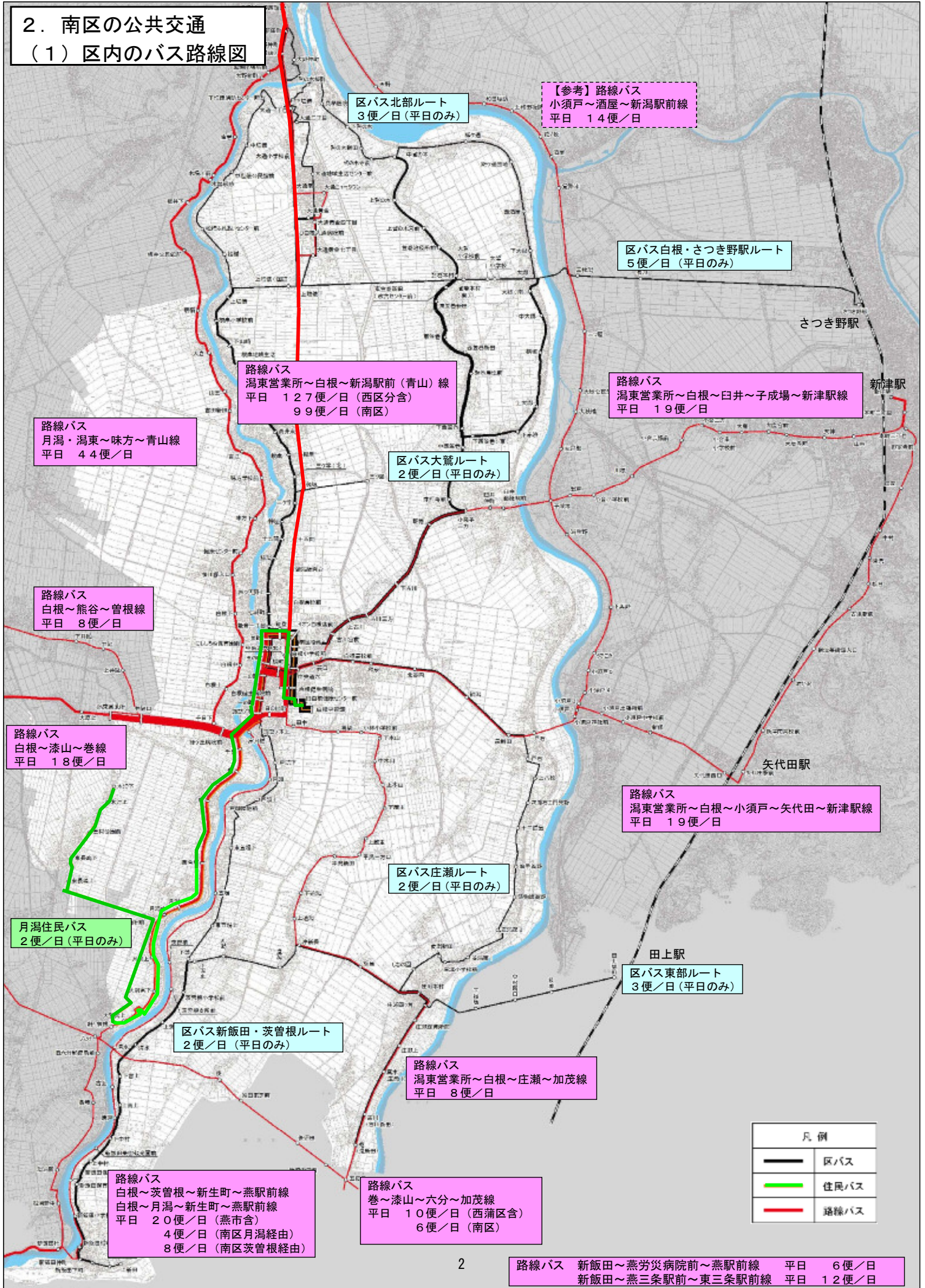
人口が8区の中で最も少ないこと、区域が広いこと、軌道系公共交通がないことなどを背景に、市中心部へのアクセスの不便、交通コスト高などの問題があり、自動車分担率は83%と、8区の中で最も高くなっている。

面積 100.83平方キロメートル

人口 46,370人 [男22,530人 女23,840人 15,441世帯]



2. 南区の公共交通  
(1) 区内のバス路線図



区バス北部ルート  
3便/日(平日のみ)

【参考】路線バス  
小須戸～酒屋～新潟駅前線  
平日 14便/日

区バス白根・さつき野駅ルート  
5便/日(平日のみ)

路線バス  
潟東営業所～白根～新潟駅前(青山)線  
平日 127便/日(西区分含)  
99便/日(南区)

路線バス  
潟東営業所～白根～臼井～子成場～新潟駅前線  
平日 19便/日

路線バス  
月潟・潟東～味方～青山線  
平日 44便/日

区バス大鷲ルート  
2便/日(平日のみ)

路線バス  
白根～熊谷～曾根線  
平日 8便/日

路線バス  
白根～漆山～巻線  
平日 18便/日

路線バス  
潟東営業所～白根～小須戸～矢代田～新潟駅前線  
平日 19便/日

区バス庄瀬ルート  
2便/日(平日のみ)

月潟住民バス  
2便/日(平日のみ)

区バス新飯田・茨曾根ルート  
2便/日(平日のみ)

区バス東部ルート  
3便/日(平日のみ)

路線バス  
潟東営業所～白根～庄瀬～加茂線  
平日 8便/日

路線バス  
白根～茨曾根～新生町～燕駅前線  
白根～月潟～新生町～燕駅前線  
平日 20便/日(燕市含)  
4便/日(南区月潟経由)  
8便/日(南区茨曾根経由)

路線バス  
巻～漆山～六分～加茂線  
平日 10便/日(西蒲区含)  
6便/日(南区)

凡例	
	区バス
	住民バス
	路線バス

路線バス 新飯田～燕労災病院前～燕駅前線 平日 6便/日  
新飯田～燕三条駅前～東三条駅前線 平日 12便/日

(2) 南区の公共交通一覧（新バスシステム開業後）

種別	系統・路線名・運行エリア	平日1日あたり便数 ※
路線バス	潟東営業所～白根～新潟駅前（青山）線	9 9 便
	月潟・潟東～味方～青山線	4 4 便
	潟東営業所～白根～臼井～子成場～新津駅線	1 9 便
	潟東営業所～白根～小須戸～矢代田～新津駅線	1 9 便
	白根～漆山～巻線	1 8 便
	潟東営業所～白根～庄瀬～加茂線	8 便
	白根～熊谷～曾根線	8 便
	白根～茨曾根～新生町～燕駅前線	8 便
	白根～月潟～新生町～燕駅前線	4 便
	巻～漆山～六分～加茂線	6 便
	新飯田～燕労災病院前～燕駅前線	6 便
	新飯田～燕三条駅～東三条駅前線	1 2 便
	区バス	北部ルート
大鷲ルート		2 便
白根・さつき野駅ルート		5 便
東部ルート		3 便
新飯田・茨曾根ルート		2 便
庄瀬ルート		2 便
住民バス	月潟地区住民バス	2 便
乗合タクシー	白根・根岸エリア⇄区中心部	1 1 便
	小林エリア⇄区中心部	1 1 便
	鷲巻エリア⇄区中心部	1 1 便
	大郷エリア⇄区中心部	1 1 便
	臼井エリア⇄区中心部	1 1 便
	庄瀬エリア⇄区中心部	1 1 便
	新飯田・茨曾根エリア⇄区中心部	1 1 便
	鷲巻エリア⇄大野仲町（西区）	1 1 便
	大郷エリア⇄大野仲町（西区）	1 1 便
	根岸エリア⇄大野仲町（西区）	1 1 便

※乗合タクシーは事前予約があった便のみ運行

### 3. 南区民の移動特性

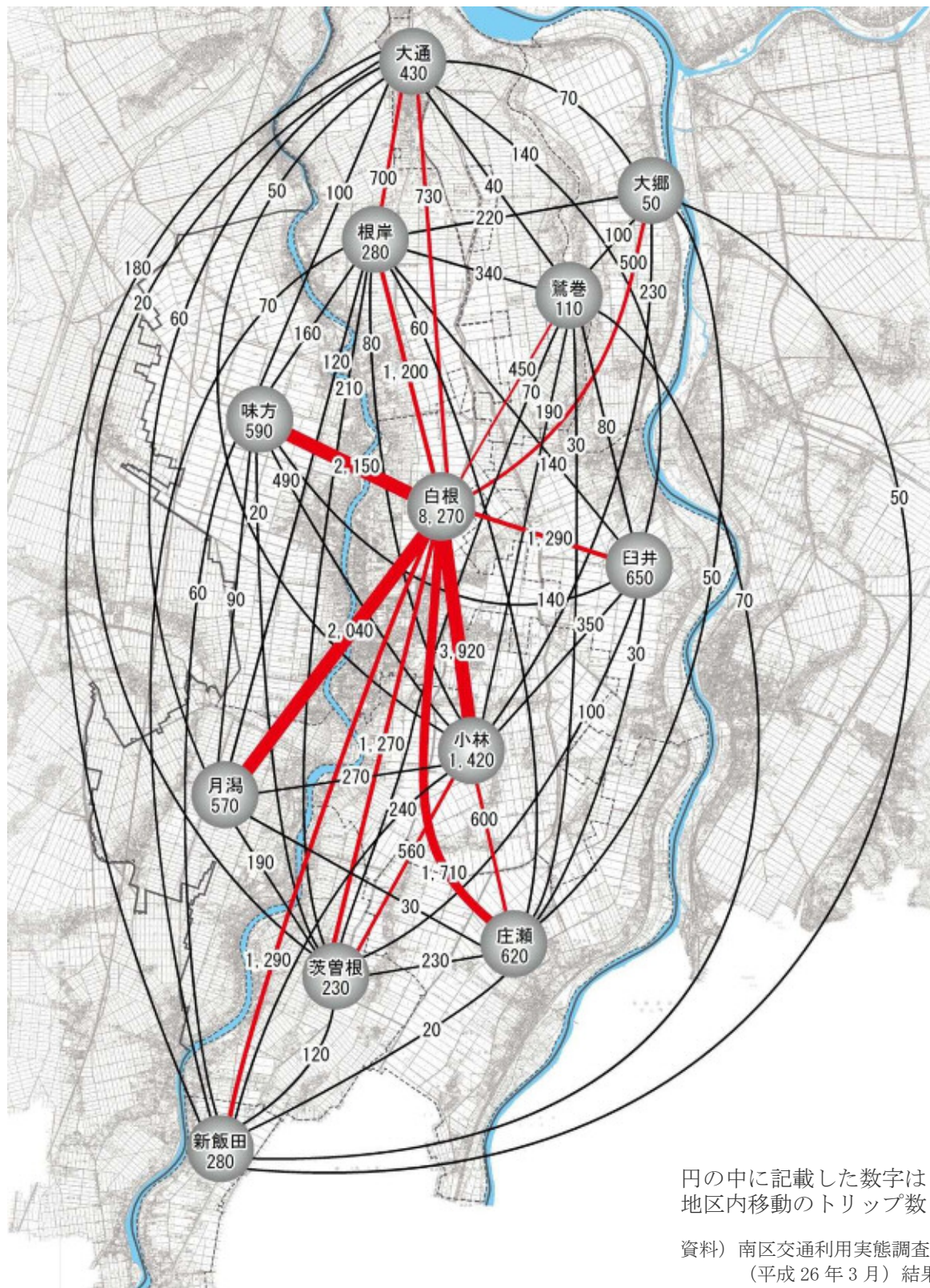
#### (1) 区をまたがる移動

南区からの区をまたがる移動（他区・近隣自治体）では、中央区、西区方面への移動が多い。



(2) 区内移動

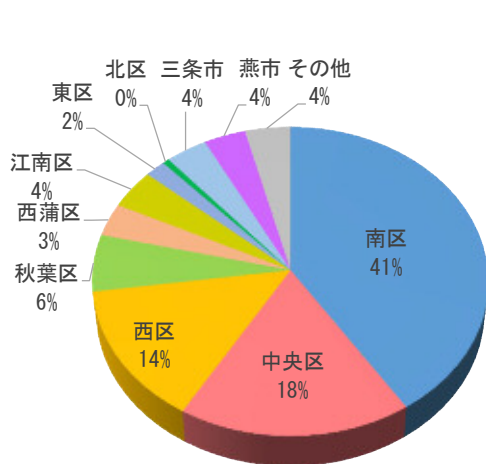
区内移動では、どの地区においても区の中心部（白根地区）との間の移動が多い。



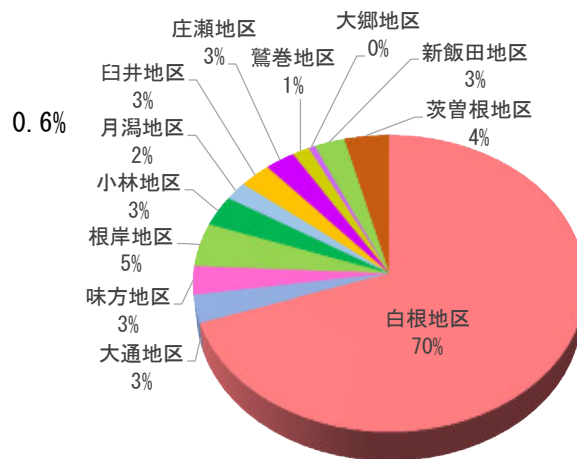
※赤線：各地区から最も多い区内移動と 500 トリップ以上の区内移動

### (3) 移動目的地（区・地区・施設）

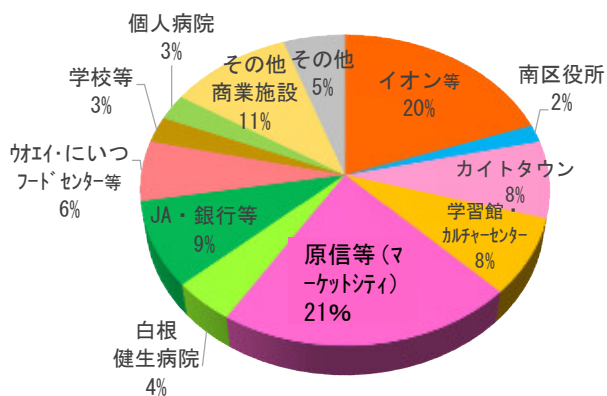
- ・区民の移動のうち最も割合が高いのは区内移動である。（全体の41%）
- ・区内移動では、商業施設・医療施設・公共施設が集積している区中心部（白根地区）への移動が最も多い。（全体の70%）
- ・目的地となっている施設では、「原信等（マーケットシティ白根）」をはじめとする商業施設の割合が高い。区の中心部（白根地区）内では、目的地から目的地への移動も多数、存在している。



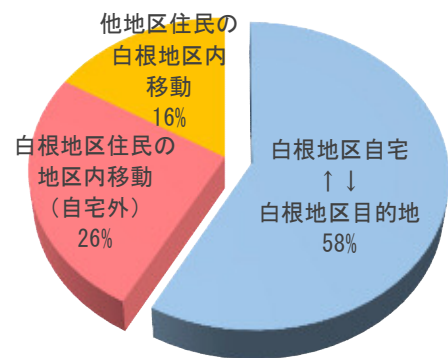
移動全体の目的地（区・近隣自治体）



区内移動の目的地（地区）



区中心部で主な目的地となっている施設※



区中心部内での移動の内訳（目的地⇔目的地、自宅⇔目的地）

※リオンドール白根店は、調査期間中に店舗建替中であったため、結果には含まれていない。

0.1%未満は0%で表示

資料) 南区交通利用実態調査  
(平成26年3月) 結果再集計  
【帰宅以外の目的地を集計】

#### 4. 南区の公共交通の課題 南区生活交通改善プラン（H27.3 作成）より抜粋

##### ① 「国道8号の路線バスによる都心アクセス」における課題

これまで、国道8号路線バス（白根線）は、朝夕の慢性的交通渋滞等を原因として、定時性と速達性が確保されておらず、また運行頻度向上など、利用者要望にも対応が不十分でしたが、今後は新バスシステム・BRT運行開始時の増便等によって白根線の利便性が向上します。しかし、他のバス等から白根線への乗換利便性が低いことから、区中心部において交通結節機能の強化を図ることで、白根線沿線に居住する区民だけではなく、全区民の都心アクセス利便性を高めていけるかが課題となっています。

##### ② 「近隣JR駅との連結」における課題

南区から近隣JR駅を経由した都心アクセスや、隣接区・隣接自治体へのアクセスについて、区中心部からの公共交通手段としては、路線バスと区バスが新津駅・巻駅・曾根駅・燕駅・加茂駅・さつき野駅へと運行されています。しかし、区北部・南部エリアの一部地域においては、近隣JR駅へのアクセス利便性が低下しているため、移動ニーズを踏まえつつ、近隣JR駅までのアクセス強化をいかにして図るかが課題となっています。

##### ③ 「区内生活交通」における課題

南区の区内移動は、区郊外と区中心部との移動と、区中心部内での移動に大きく分類されます。区中心部内の移動においては、医療施設・商業施設・公共施設など各施設間の移動（目的地間移動）割合も高いのですが、現状、区中心部においては、バス停から離れた主要施設も多く、目的地間移動にバスを利用しにくくなっています。そこに区郊外からのバス運行本数の少なさが重なることで、区内移動全体における、バス利便性低下とバス分担率低下の連鎖に拍車がかかっています。よって、区郊外から区中心部へのアクセス向上と、区中心部内の目的地間移動における、バスの利用しやすさ向上を通じて、区内のバス全体の利用者増加を図り、区内生活交通を持続可能なものとしていけるかが課題となっています。

また、一部の区バス路線では長大化・複雑化による非効率が生じているため、移動ニーズを踏まえつつ、非効率の解消を図ることも課題となっています。

##### ④ 「バスの利用環境」における課題

交通弱者の「生活の足」の確保という観点からも、普段バスを利用していない区民からも利用意識を高めて、実際に乗ってもらうことで、マイカー依存からの脱却を図り、公共交通利用者の減少に歯止めをかけるため、バス等の情報発信の強化と、バス待合環境などの確保が課題となっています。

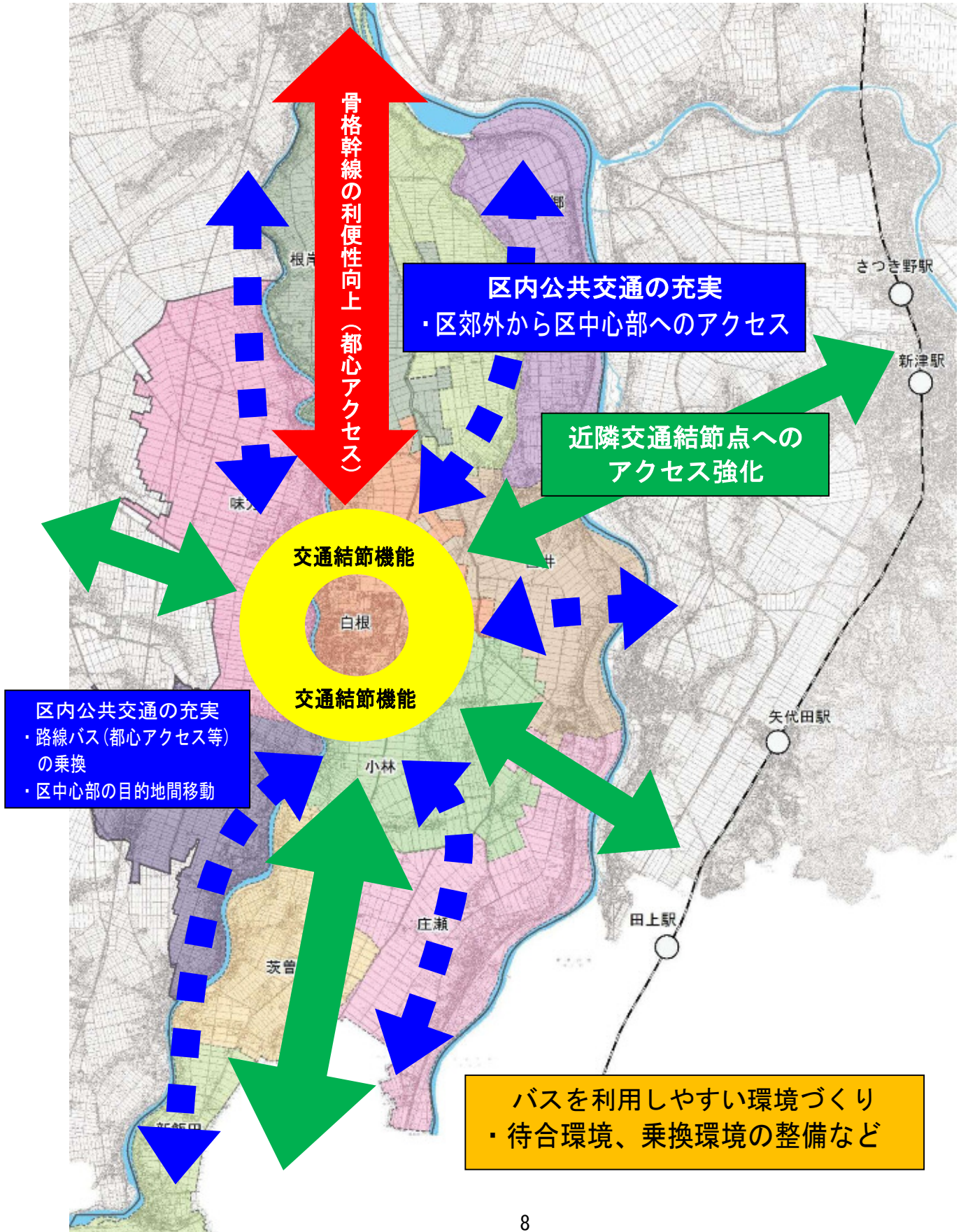


5. 南区が目指す交通の将来像 南区生活交通改善プラン (H27.3 作成) より抜粋

(1) 目標

誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまち

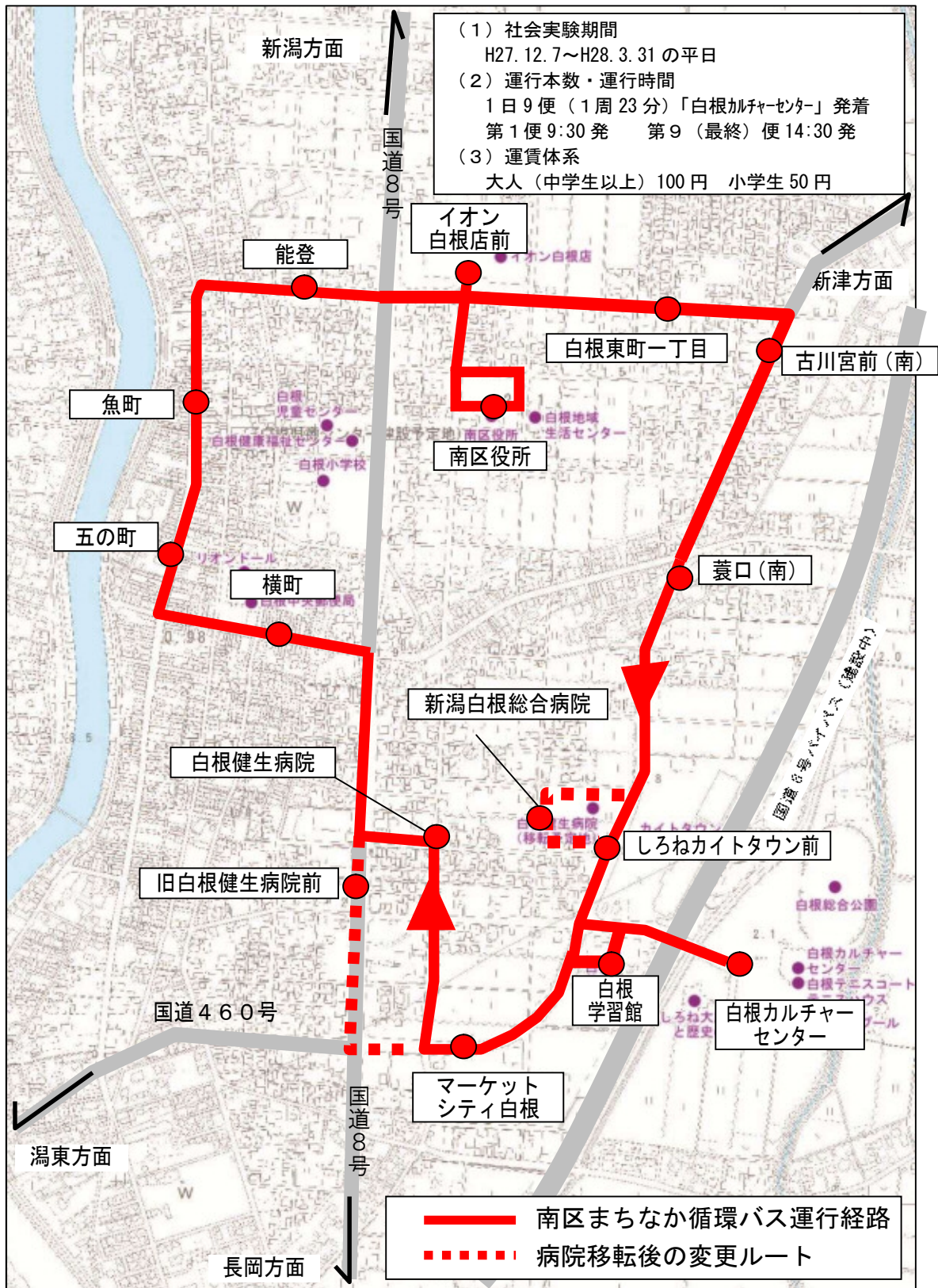
(2) 南区の交通の将来イメージ



## 6. 直近の取組事例

### 取組事例1 区バスまちなか循環ルート社会実験

区の中心部のバスルートのあり方検討と、区バス・住民バス・路線バスとの組み合わせによる生活交通全体の利便性向上を目的とした社会実験バスを運行中である。



## 取組事例2 モビリティ・マネジメントの取り組み

(1) 区役所だより紙面上での連載記事による情報発信(昨年度9月より20回掲載)

**公共交通情報コーナー 8** 乗合タクシーで乗り合わせる区バス利用のメリット

区バスを維持していくためには、皆さまから乗客に区バスに乗り続けていただくことが必要です。区バスに不満を感じる点として、「運行本数の少なさ」を挙げる方も少なくありません。そこで、区バスと乗数の多い乗合タクシーを組み合わせる利用方法を紹介します。

▶ **乗合タクシーとは**  
事前予約により、バス等で乗って、バス停で降りる駅まで利用できるタクシーです。送迎エリアと自前中心部・西区大野町エリアの乗客に利用できます。  
**タクシー会社へ電話で予約申し込みが必要**です。(乗り要のみ電話までの予約) 予約時刻の分前までにバス停にお越しください。

▶ **区バスと乗合タクシーの組み合わせ利用例(西区本町中台児童生協例のケース)**

区バス(区バス) 乗り場・乗降など  
乗合タクシー(乗合タクシー) 乗り場・乗降など

▶ **乗合タクシーの予約方法**

事前予約時に  
①乗客 連絡先 ④利用する区バス利用する便  
②乗降する区バス ⑤利用人数  
乗降予約の  
電話番号 白根中心部・西外の利用 ☎372-6489 区内タクシー事業者  
西区大野町地区の乗客の利用 ☎377-2506 三和交通株式会社  
利用料金 ① 1人乗車 300~700円(バス乗車に異なる) ④中乗継全乗車  
② 2人以上で乗車 300円増(1人乗車)

詳しくは、南区公共交通完全ガイド、南区ホームページをご覧ください。お問い合わせ 地域課 ☎372-6605

**公共交通情報コーナー 10** 区バスをスマートフォンのeバスで利用するメリット

パソコンや携帯電話・スマートフォンを使って、現在乗っている区バスの位置情報や所要時間、リアルタイムの混雑状況を把握できる「eバス(イーツバス)」の導入が始まりました。区バス到着時刻の予測が正確になり、待ち時間のストレス解消が期待されます。区バスがさらに便利に楽しく利用できるようになりました。ホームページや下記QRコードから、ぜひご利用ください。

▶ **eバスを使った「区バス乗客状況」の調べ方**

- スマートフォンから区バスのページにアクセスし、乗客状況を確認します。
- 乗客状況の区バス乗客数を確認し、乗客状況の区バス乗客数を確認します。
- 区バスを乗っている乗客が、区バスの乗客状況を確認することができます。
- 乗客状況の区バス乗客数を確認し、乗客状況の区バス乗客数を確認します。

お問い合わせ 地域課 ☎372-6605

**公共交通情報コーナー 14** 平成26年度区バス社会実験の成果について

平成26年度の区バス社会実験の成果がまとまりました。社会実験結果や区バス利用促進策などを踏まえ、今後の区バスの運行体系や乗客数の増大について検討を進めています。

▶ **区バス利用促進策**  
について

この数年の区バス利用促進策は減少傾向にありましたが、昨年度は減少に一定の歯止めがかかりました。今年度は、区バス利用者の増進を図るため、各種の取り組みを行ってまいります。

▶ **区バス社会実験について**  
区バス社会実験は昨年と比べ、全体として減少、改善しました。しかし、ルート別には、10%未満から30%以上まで、利用者数や利用客数、乗行距離の増減による差が見受けられます。区バスは乗客30%以上増減しないと運行継続が難しくなるため、さらなる取組が必要となります。

▶ **区バス社会実験(1~3月)**

	北線	大野	西区	東区	南線	合計
乗客数	2,489	595	333	2,080	2,043	7,540
乗客数増減率	7.8%	10.3%	4.2%	91	7	3.8%
乗客数減少率	1.3%	5.8%	31	9	29	61.2%
乗客数増減率	4.5%	4.5%	3.0%	1.3%	1.0%	3.0%

詳しくは、南区公共交通完全ガイド、南区ホームページをご覧ください。お問い合わせ 地域課 ☎372-6605

(2) 自治協議会第1部会による区バス利用啓発活動(一例)



車内バルーンアート装飾



区バスデザインコンテスト



ラッピングバス制作



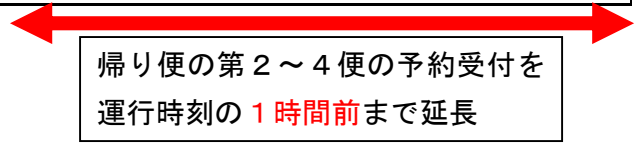
車内クイズラリー

**取組事例3** 乗合タクシーの使いやすさ向上

利用者からの「買い物や通院に要する時間が読めないため、外出先から予約しにくい」との声をを受けて、10/1より予約受付時間を延長し使いやすさの向上を図った。

【従来の予約受付時間】

行き便 (郊外→区中心部)	便 (始発運行時刻)	1便 (9:00)	2便 (10:00)	3便 (12:00)	4便 (13:00)	5便 (15:30)	6便 (17:00)
	予約受付	前日まで		運行時刻の2時間前まで			
帰り便 (区中心部→郊外)	便 (始発運行時刻)	1便 (11:30)	2便 (12:30)	3便 (13:30)	4便 (15:00)	5便 (16:30)	
	予約受付	運行時刻の2時間前まで					



**取組事例4** 住民バスの運行支援

月潟地区住民バスの利用啓発のため、運行団体（月潟生活交通運行協議会）との協働で、利用者懇談会や地域の茶の間でのPR、月潟住民バス便り発行などを行い、バスの利用呼びかけや「シニア半わり」周知、利用者からの意見聴取を行った。



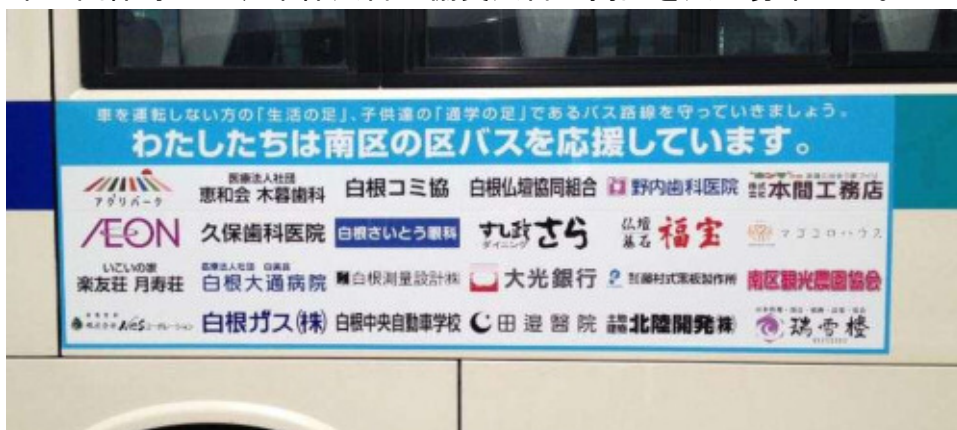
住民バス利用者懇談会



月潟住民バス便り（第1,2号）

**取組事例5** 区バスの車体広告収入の獲得

区内の企業・団体等から、車体広告と協賛広告の掲出を広く募集した。



(7) 区バス利用者数・収支率の改善状況（上半期（4－9月）の比較）

①区バス利用者数

		H26年度	H27年度	差異
北部ルート	大人	1,203	1,314	+111
	中高生	274	473	+199
	小学生	914	937	+23
	合計	2,391	2,724	+333
大鷲ルート	大人	261	193	-68
	中高生	15	20	+5
	小学生	2,878	2,136	-742
	合計	3,154	2,349	-805
白根・さつき野 駅ルート	大人	208	265	+57
	中高生	2,273	3,114	+841
	小学生	0	1	+1
	合計	2,481	3,380	+899
東部ルート	大人	271	343	+72
	中高生	1,893	1,586	-307
	小学生	0	0	0
	合計	2,164	1,929	-235
新飯田・茨曾根 ルート	大人	928	1,210	+282
	中高生	60	6	-54
	小学生	1	5	+4
	合計	989	1,221	+232
庄瀬ルート	大人	989	1,004	+15
	中高生	2	6	+4
	小学生	24	29	+5
	合計	1,015	1,039	+24
全体	大人	3,860	4,329	+468
	中高生	4,517	5,205	+688
	小学生	3,817	3,108	-709
	合計	12,194	12,642	+448

②区バス収支率（広告収入含）

	H26年度	H27年度	差異
北部ルート	11.6%	18.7%	+7.1%
大鷲ルート	13.0%	17.3%	+4.3%
白根・さつき野駅ルート	8.2%	14.6%	+6.4%
東部ルート	19.8%	18.2%	-1.6%
新飯田・茨曾根ルート	25.7%	32.1%	+6.4%
庄瀬ルート	23.0%	29.9%	+6.9%
全体	13.7%	19.1%	+5.4%

発行：南区自治協議会

# レインボーバス通信

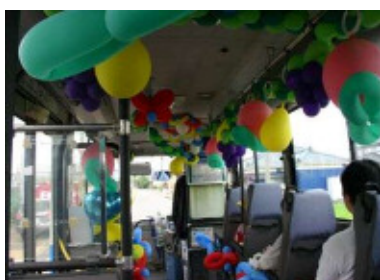
はじめまして。「レインボーバス通信」です。このお便りでは、区バス・乗合タクシーなど、南区における生活交通の話題を不定期でお届けしていきます。



## レインボーバス通信発行に寄せて（南区自治協議会からのメッセージ）



南区自治協議会（第1部会）ではこれまで、イベント会場での区バス展示・車内装飾や、「南区公共交通完全ガイド」の作成・配布、区バス絵画コンテストの開催など、区バス等の利用啓発活動に継続的に取り組んでまいりました。

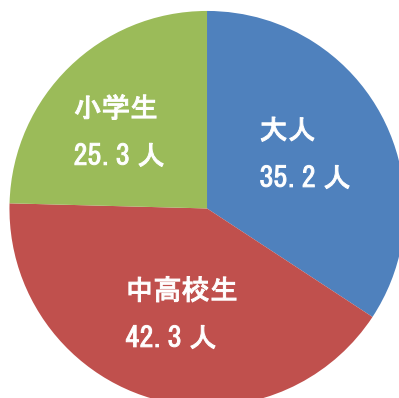


この度、活動の一環として、区バスに関するニュースや利用状況などを直接、皆様にお届けするためにレインボーバス通信を発行することにいたしました。区バスへの関心と親しみを深めていただき、区バスをはじめとする南区の生活交通を守っていくことの大切さについて、少しでもご理解いただければ幸いに存じます。

南区自治協議会第1部会 会長 佐々木 彰治

## レインボーバス（南区区バス）は普段、主にどんな方が利用されているのでしょうか？

平成27年4-9月  
区バスの平均利用者数（1日あたり）



合計102.8人

「レインボーバス（南区区バス）」は、区郊外⇄区中心部、南区⇄近隣JR駅（さつき野駅・田上駅）とを結び、南区の生活交通を確保している乗合バスです。

1日の区バス平均利用者数（H27.4-9月）は約103人で、利用の割合が高い順に、高校生による通学利用、次いで大人の通院・買い物の移動のための利用、次いで小学生の通学利用の順となっており、主に自動車を運転しない方の大切な「生活の足」として利用されています。

## レインボーバス（南区区バス）の利用者数の推移について

南区の区バス利用者は、ここ数年で5,000人以上減少しており、区バスの収支率は、全区の中で最も低い状況にあります。

利用者数の減少に歯止めをかけて、一定の収支率を上回らないと、区バス路線の維持が難しくなることから、早急に改善を図っていく必要が生じています。昨年度は利用者減少に一定の歯止めがかかり、今年度に入り、ルートによっては増加傾向にある区バスもありますが、一方で昨年度を大きく下回っているルートもあります。



### 地域のバス路線を守るため、私達にできること

将来的に運転免許返納などにより、車を運転しない方が増えることを考えると、バス路線の維持はとても大切なことと言えます。病院でのアンケート調査でも「今はバスを利用していないが、将来的に車を運転できなくなれば、バスのお世話になるので、無くなるのは困る」との声も多くいただきました。バスが必要になった時に、バスが無くなっているという事態は避けなくてはなりません。そのためにも、

#### 「バスに乗ることでバス路線を守る」

ことが大切です。普段は区バスに乗らない方からも、たまにでも、少しでも、月1回でも、実際に区バスに乗っていただくことが、地域のバス路線を守ることに繋がりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

たまにでも、少しでも区バスに乗ることで、地域のバス路線を守ろう！



### 南区の区バスは多くの応援団に支えていただいています。

前述の区バス収支率改善のためには、運賃収入だけでなく広告収入も重要です。南区では全区の中で最も多くの企業・団体の方から車体広告をいただいています。



車を運転しない方の「生活の足」、子供達の「通学の足」であるバス路線を守っていきましょう。

## わたしたちは南区の区バスを応援しています。

アグリパーク	医療法人社団 恵和会 木暮歯科	白根コミ協	白根仏壇協同組合	野内歯科医院	株式会社 本間工務店
AEON イオン白根店	久保歯科医院	白根さいとう眼科	すし政さら	仏壇 福宝	マゴコロハウス
いごいの家 楽友荘 月寿荘	医療法人社団 白美会 白根大通病院	白根測量設計株式会社	大光銀行	黒藤村式黑板製作所	南区観光農園協会
株式会社 NCS コーポレーション	白根ガス(株)	白根中央自動車学校	田邊 醫院	北陸開発(株)	瑞雪楼

白根健生病院 南区観光協会

〈レインボーバス通信に関するお問合せ〉

南区自治協議会事務局 新潟市南区白根1235（南区役所内）電話 025-372-6605